

中野P・たかちゃん @ 坂主字音の



国際交流基金・日本語パートナーズ / インドネシア レポート

★2016年2月号

みなさん、こんにちは！

あつというまに4月になってしまいました（汗）

遅くなりましたが2月のできごとから振り返って報告したいと思います。

2月は学校の日本語の授業が急に少なくなりました。

というのも SMK（専門高校）の生徒はそれぞれの専門分野での実習があるからです。

服飾科専攻の生徒は近隣のブティックショップや服のオーダーメイドを扱う専門店などで実際に洋服や商品を作ります。

ホテル科の生徒は実際のホテルでベットメイキングの仕事などを体験します。

会計専攻の生徒は実際の会社にて実習をするそうです。

そんなわけで高校2年生はみんな実習へ。

高校3年生は卒業試験にむけた特別編成授業に切り替わり、日本語の授業はなし。

つまり日本語の授業は高校1年生だけでした。

それでも空いた時間で先生たちと、学生たちと、他校の学生と、地域の人と… いろいろな人と交流しました～v v

○誕生日 indonesia 編～インドネシアで誕生日を迎えました！！～

誕生日当日・・・

当日は日曜日だったため、学校はお休み。メールでたくさんの人からお祝いのメッセージをいただきました。

お祝いメッセージをくれた方、ありがとうございます！！

「selamat ulang tahun, yuk kita Makan! Makan makan dinama nih??」

「誕生日おめでとう！ごはん食べいこう！どこに食べに行く??」

と、こんなメッセージが多数…、誕生日=ごはんなのか??

そう、インドネシアでは、誕生日を迎える本人が友達にご飯をごちそうするという習慣があります。

誕生日に限らず、就職、入学、卒業祝いなど、お祝いごとには本人がごちそうを振る舞います。

ということで、私も日本食レストランで日本食をおごりました☆

誕生日にご飯をおごるのが一般的なだけあって、ほとんどのレストランで誕生日特典があるようでした。私が行った日本食レストラン「すし亭」ではカリフォルニアロール1人前が無料でした☆
また、誕生日の日に美容院にいくとシャンプー、カットが無料！なんていうサービスも。
インドネシアで誕生日を迎える際は、ぜひぜひお得情報をチェックしてみてもいいかな？（笑）

さてさて、翌週学校へ行くとき…

ケーキとか日本食でも作ってもっていくべき？でも何人分？先生たちだけでも50人以上だし・・・どうしよう。そんなことを考えて、でも結局用意する時間もなく、日本語クラブの学生用に日本のお菓子をもっていくことにしました。

案の定、職員室に入るといろんな先生たちから「Takane, kuenya mana??」（たかね、ケーキはどこ？）とつっこまれました。（笑）

「ごめんなさい、先生、ケーキはないけど、今度 BAKSO（肉団子スープ）おごるよ～」と約束をすることに。

内心ハラハラしながら迎えた誕生日でしたが、日本語クラブでは学生たちがケーキを用意してくれていて、プレゼントと手紙までもらってしまいました！

こんなにたくさんの人に（学校中の人に！）誕生日を祝ってもらったのは初めてです☆
とてもうれしい一日となりました。



誕生日
すしケーキ☆



日本語クラブの学生から誕生日ケーキ！
誕生日の人が切り分けます。
最初に一番食べてほしい人に食べさせる、結婚式のファーストバイトみたいなことをします☆



仲良しの先生たちに
BAKSO をごちそう☆

○けんだまコンテスト

さてさて、授業では「けんだま」の紹介をしました。

日本に昔からあるけんだま。200年以上前から日本にあったとされています。

とってもシンプル、でも集中しないとなかなか難しい。これがインドネシアでは大人気でした！！

けんだまの遊び方を説明したあと、クラスでは「けん玉コンテスト」を行いました。

時間は30秒。一番多く玉を大皿に乗せた人が勝ちです。

みんな必死☆1回しかできなかつた～という子もいれば、36回という強者も。

「アドッ！（あちゃ～）」「コンセントラシ～（集中、集中～）」「ヤ～！ビサ！（やった、できた!）」
にぎやかすぎてちょっと他のクラスの人に迷惑では・・・と心配でしたが、本当に楽しい時間でした。



けんだまコンテスト！



先生も学生も一緒に
中庭で日本の遊びを体験！
けんだまのほか、だるまおとし、
こまも人気でした☆